

取扱説明書

サスペンションフォーク

警告！

本説明書をよくお読みになり、理解したうえで正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも再び読めるように安全な場所に保管してください。SR SUNTOUR製品の使用やメンテナンスに当たって不明な点がある場合はご連絡ください。警告や指示をお守りいただけないと、製品が正常に動作しない可能性があり、事故や怪我、致命傷につながります。

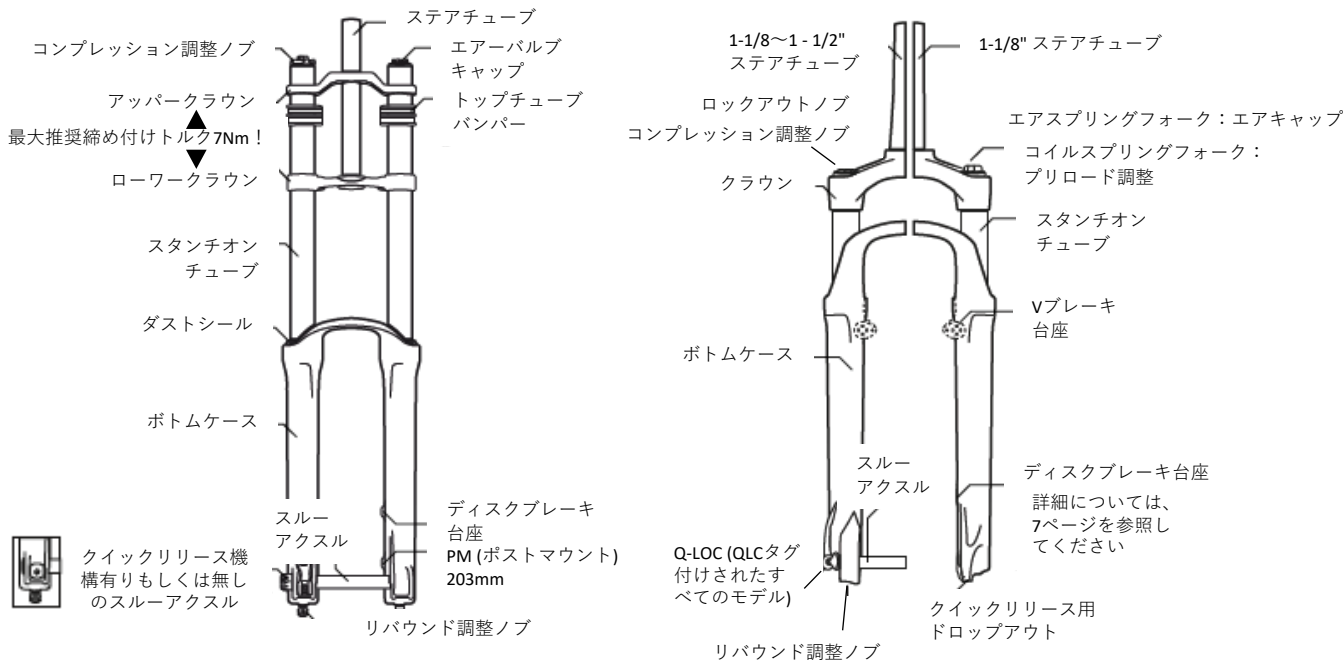
概要.....	2
安全に関する重要な情報.....	2
ご乗車の前に.....	3
フォークの取り付けについて.....	3
タイヤとの間隔の確認.....	3
タイヤとの間隔.....	4
推奨タイヤサイズ.....	5
ディスクブレーキ最大取付可能ローターサイズ.....	7
15mmボルト止めアクスルの取り付け・取り外し.....	8
20mmツールタイプアクスルの取り付け・取り外し.....	9
20mmツールフリーアクスルの取り付け・取り外し.....	9
Q-LOCの取り付け・取り外し.....	10
コイルスプリングのプリロード調整.....	11
空気圧と「SAGサグ（沈み量）」.....	11
フォークのメンテナンス.....	12
対象のバイクタイプ・カテゴリー.....	13



当社のウェブサイトには、CN、DE、EN、ES、FR、IT、JP、NLの言語オプションがあります。次の場所に移動してください：

www.srsuntour-cycling.com > Service > Download area > Consumer Downloads > Bike > Owners manuals > General Fork Manual

概要



安全に関する重要な情報



警告！

警告や安全に関するすべての指示をお守りいただけないと、製品が正常に動作しない可能性があり、事故や重い人身傷害、乗員の致命傷につながる場合があります。

- サスペンションフォークをお使いになる前に、本説明書をよくお読みください。
- 記載されている指示内容には、お使いのサスペンションフォークの正しい取り付け方や点検・整備、メンテナンスに関する重要な情報が含まれています。一般的な機械知識では対応できない場合がありますので、お使いのサスペンションフォークの取り付けや点検・整備は、訓練を受けて資格を持つ自転車整備士が専用の工具を使用して行う必要があります。
- SR SUNTOURのサスペンションフォークには超高压の液体やガスが使われています。SR SUNTOURのサスペンションフォークは絶対に分解しないでください。部品が勢いよく飛び出すことがあります。
- SR SUNTOURのサスペンションフォークは1つの統合システムとして設計されています。正常に動作させて事故を防止するために、必ずSR SUNTOURの純正部品を使用してください。他社のスペアパーツを使用した場合、お使いのサスペンションシステムは保証対象外となります。
- 禁止の警告ステッカーが貼られている場合、当該サスペンションシステムはジャンプや急勾配のダウンヒル、フリーライド、ダートジャンプを目的とした製品ではありません。こうした指示を無視してお使いになると、サスペンションシステムの故障の原因となり、事故や人身傷害、致命傷につながるだけでなく、保証の対象外となります。
- SR SUNTOURのサスペンションフォークは、乗員1名による使用を前提にして設計されています。
- お使いのフレームの寸法や乗車スタイルに合わせて、適切なサスペンションフォークをお選びください。フレームの寸法に合わないサスペンションフォークを取り付けると、サスペンションフォークやフレームの故障の原因となり、サスペンションの保証も無効になります。
- 自分の技量や経験の限界を把握し、決して無理な乗り方はしないでください。
- 自転車や関連するコンポーネントの取扱説明書をよくお読みになり、理解した上で正しくお使いください。
- 必ず適切な安全装備をお使いください。自転車用ヘルメットは頭に合ったものを、きちんとあごひもを締めつけて着用してください。自分の乗車スタイルに合わせて、適切な安全装備を適宜使用してください。安全装備は必ず最適なコンディションのものをお使いください。
- これまでに別のサスペンションシステムをお使いになっていた場合でも、新しいサスペンションフォークを購入した場合は慎重にスピードを出さずに乗車し、その感覚に徐々に慣れるようにしてください。
- SR SUNTOURのサスペンションフォークには公道を走る際に必要なフロントリフレクターは付いていません。公道や自転車専用道路を走る場合は、必ずフロントリフレクターを取り付けてください。詳細は販売店にお問い合わせください。
- 前輪を外して使用するタイプの自転車用ラックをお使いの場合は、フォークのつめ部分のラックへの抜き差しを慎重に行うようにしてください。フォークのつめを曲げないようにご注意ください。
- フォークのつめだけで自転車を固定するタイプの自転車用ラックをお使いの場合は、必ず後輪をしっかりと固定して動かないようにしてください。後輪が動くフォークのつめが損傷する可能性があり、このような損傷は見た目では気付かない場合があります。
- 自転車が自転車用ラックから外れ落ちてしまった場合は、乗車する前に資格を持つ自転車整備士に点検してもらってください。



警告！

重度の人身傷害や致命傷を防止しましょう。以下の基準のいずれかを満たしていない場合は自転車に乗ってはいけません。必ず適正な状態を確認してからご乗車ください。

- 自転車とサスペンションシステムを点検し、ハンドルやペダル、クランク、シートポスト、サドルなどに亀裂やへこみ、ねじれ、変色がないか確認してください。また、サスペンションにオイル漏れがないことも確認してください。自転車の下側の見えない部分も必ず確認してください。いずれかの状態が確認できた場合は、訓練を受けて資格を持つ自転車整備士に見てもらい、原因を突き止めて必要な処置を行ってください。
- 体重をかけてサスペンションシステムを圧縮してみてください。柔らかすぎると感じた場合は必要な調整を行い、適正なサグ(沈み量)にしてください。沈み量につきましては、本説明書の「空気圧とサグ(沈み量)」を参照してください。ブレーキが適切に取り付け/調整され、適正に動作することを確認してください。
- ブレーキが正しく取り付けられ、調整され、正しく作動することを確認してください。
- 前後の車輪を回転させて、両輪とも正確に中心に位置し、サスペンションシステムやブレーキに接触していないことを確認してください。
- 前後の車輪をクイックリリースシステムで固定している場合は、すべてのレバーやナットが適切に締め付けられていることを確認してください。スルーアクスルシステムをお使いの場合は、すべての取り付けボルトが適正なトルク値で締め付けられていることを確認してください。クイックリリースやスルーアクスルを提供するメーカーの取扱説明書をよくお読みになり、必ず指示に従うようにしてください。
- ケーブル長や取り回しを確認し、自転車のハンドルを切ってもどこにも干渉しないようにしてください。
- 公道を走るためにリフレクターを付けている場合は、汚れていない事、適切に取り付けられている事を確認してください。
- すべてのコンポーネントの取り付けを点検し、しっかり固定されていることを確認してください。
- 地面で自転車をバウンドさせ、緩んでいるところがないことを目と音で確認してください。

フォークの取り付け



警告！

製品を正常に動作させて事故や人身傷害、致命傷を回避してください。ご購入いただいたSR SUNTOURのサスペンションフォークは、訓練を受けて資格を持つ自転車整備士が取り付けや点検・整備を行う必要があります。製品を正常に動作させて事故や人身傷害、致命傷を回避してください。ブレーキやヘッドセットなどの取り付け用ねじはすべて、それぞれのコンポーネントを製造するメーカーが指定するトルク値で締め付ける必要があります。

1. 古いフォークを自転車から取り外し、フォークからクラウンレースパーツを外してください。
2. 古いフォークのステアリングステムの長さを測り、SR SUNTOURのフォークのステアチューブの長さとは比べます。SR SUNTOURのサスペンションフォークのステアチューブ長は標準で255mmとなっているため、短く切って適正な長さに調整する必要があるかもしれません。
3. フォーククラウン上端部にクラウンレースパーツをしっかり圧入します。フォークやその他の部品(ヘッドセット、スペーサー、ハンドルステム)を自転車に再装着します。ヘッドセットを調整して遊びをなくしてください。詳細はヘッドセットに付属している取り付け説明書を参照してください。
適正なステアリングステムの長さは以下の要領で算出できます：
フレームのヘッドチューブ長+ヘッドセットの高さ+スペーサー(使用する場合)+ステムの高さ - 3mm(間隔)
4. ブレーキの説明書を参照してブレーキを取り付け、適切に調整してください。ディスクブレーキを使用している場合は、必ずディスクブレーキ取り付け用の穴に取り付けるようにしてください。カンチレバーブレーキの場合は、サポートシステムなしで使えるものを使用してください。ブレーキに付属している組み立て説明書を参照し、ブレーキケーブルは、フォークやハンドルに干渉しない適切な長さのものにしてください。
5. 前輪を取り付けます。締め付けレバーやナットはすべて、必ず適切にセットして締め付けるようにしてください(クイックリリースを固定するには、ナットに少なくともねじ山が4回転入っていることが必要です)。スルーアクスルを備えたフォークの場合は、すべてのねじが適切なトルクで締め付けられていることを確認してください。クイックリリースまたはスルーアクスルに付属している説明書を参照してください。

タイヤとの間隔の確認

1. フォークのスプリング側から空気を抜きます（エアサスペンションフォークの場合）。
2. フォークを奥までしっかり圧縮します。
3. タイヤ上端部とフォーククラウン下面の間の距離を測定します。必ず10mm以上を確保してください。タイヤが大きすぎると、フォークが最大限縮んだ時にクラウン下面に接触してしまいます。
4. 確認が終わり問題がなければ、エアサスペンションの場合は空気を再度規定圧まで注入してください。
5. 泥よけ（フェンダー）をお使いの場合は、その分間隔が狭まることに注意してください。この「タイヤとの間隔の確認」を繰り返し行い、クリアランスを十分確保してください。この確認は、タイヤのサイズを変更するたびに繰り返し行う必要があります。

タイヤとの間隔



警告！

フォークに装着可能なサイズよりも大きなタイヤを使用するのは非常に危険であり、事故や大怪我、致命傷につながります。タイヤとの間隔を十分に取らないと自転車我突然制御不能になる場合があります、事故や人身傷害、致命傷につながります。

下記の寸法はボトムケースのタイプに基づいています。いくつかの数値は、泥除け装着用ダボを持つボトムケースタイプに基づいています。事前に車輪とフォークが適合していることを確認してください。タイヤに関する必要な情報はタイヤ側面に記載されています。タイヤ外径（タイヤの幅と高さ）はタイヤによって異なります。そのため、タイヤとフォークの間隔を確認し、いかなる状況下でもタイヤとフォークが接触しないようにする必要があります。フォークとタイヤの間隔がいちばん狭いのは、ディスクブレーキの場合はブレーキホースが固定されている辺り、Vブレーキの場合はブレーキ台座の辺りです。タイヤを外す場合は、何よりもまず先にタイヤの空気を抜いてください。そうすればタイヤは間隔の狭いところもフォークに接触せずに通り抜けます。

推奨タイヤサイズ

フォークモデル	スタンチオン チューブ サイズ	推奨タイヤ サイズ	最大タイヤ幅	最大タイヤ外径 (O.D.) (*以下注意)
RUX38 27.5" BT	38mm	27.5" x 2.8"	73mm	732mm
DUROLUX36 29" BT	36mm	29" x 2.6" / 27.5" x 2.8"	63mm	756mm
DUROLUX36 27.5" BT	36mm	27.5" x 2.6"	63mm	723mm
AURON35 29" BT	35mm	29" x 2.4" / 27.5" x 2.8"	63mm	756mm
AURON35 27.5" BT	35mm	27.5" x 2.8"	73mm	737mm
AURON34 29"	34mm	29" x 2.25"	58mm	752mm
AURON34 27.5"	34mm	27.5" x 2.25"	58mm	708mm
AION35 29" BT	35mm	29" x 2.4" / 27.5" x 2.8"	63mm	756mm
AION35 27.5" BT	35mm	27.5" x 2.8"	73mm	737mm
AION34 29"	34mm	29" x 2.25"	58mm	752mm
AION34 27.5"	34mm	27.5" x 2.25"	58mm	708mm
ZERON35 29" BT	35mm	29" x 2.4" / 27.5" x 2.8"	63mm	756mm
ZERON35 27.5" BT	35mm	27.5" x 2.8"	73mm	737mm
AXON34-werx 29" BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	756mm
AXON34-elite 29" BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	756mm
AXON34 29" BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	760mm
AXON34 27.5" BT	34mm	27.5" x 2.6"	67mm	725mm
AXON32 29" BT	32mm	29" x 2.4"	63mm	756mm
AXON32 27.5" BT	32mm	27.5" x 2.5"	66mm	724mm
AXON32 29"	32mm	29" x 2.25"	58mm	754mm
AXON32 27.5"	32mm	27.5" x 2.25"	58mm	710mm
EPIXON 29"	32mm	29" x 2.25"	58mm	754mm
EPIXON 27.5"	32mm	27.5" x 2.25"	58mm	710mm
EPIXON 26"	32mm	26" x 2.25"	58mm	684mm
RAIDON34 29" BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	760mm
RAIDON34 27.5" BT	34mm	27.5" x 2.6"	67mm	725mm
RAIDON32 29" BT	32mm	29" x 2.4"	63mm	756mm
RAIDON32 27.5" BT	32mm	27.5" x 2.5"	66mm	724mm
RAIDON32 29"	32mm	29" x 2.25"	58mm	754mm
RAIDON32 27.5"	32mm	27.5" x 2.25"	58mm	710mm
RAIDON32 26"	32mm	26" x 2.25"	58mm	684mm
XCR34 29" BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	760mm
XCR34 27.5" BT	34mm	27.5" x 2.6"	67mm	725mm
XCR32 29" BT	32mm	29" x 2.4"	63mm	756mm
XCR32 27.5" BT	32mm	27.5" x 2.5"	66mm	724mm
XCR32 29"	32mm	29" x 2.25"	58mm	754mm
XCR32 27.5"	32mm	27.5" x 2.25"	58mm	710mm
XCR32 26"	32mm	26" x 2.25"	58mm	684mm
XCR 24"	32mm	24" x 2.1"	54mm	624mm
XCM34 29 BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	756mm
XCM34 27.5 BT	34mm	27.5" x 3.0"	78mm	740mm
XCM32 29" BT	32mm	29" x 2.4"	63mm	752mm
XCM32 27.5" BT	32mm	27.5" x 2.6"	67mm	730mm
XCM32 20" CRG	32mm	20" x 2.25"	58mm	530mm
XCM 24" BT	30mm	24" x 2.8"	73mm	678mm
XCM 29"	30mm	29" x 2.4"	63mm	758mm
XCM 27.5"	30mm	27.5" x 2.25"	58mm	714mm
XCM 26"	30mm	26" x 2.25"	58mm	688mm
XCM-JR. 20"	28mm	20" x 2.1"	56mm	526mm

XCT30 29"	30mm	29" x 2.25"	58mm	750mm
XCT30 27.5"	30mm	27.5" x 2.25"	58mm	714mm
XCT L24"	28mm	24" x 2.1"	54mm	628mm
XCT 20" plus	28mm	20" x 2.8"	73mm	554mm
XCT L20"	28mm	20" x 2.1"	56mm	526mm
XCT 24"	25.4mm	24" x 2.1"	54mm	628mm
XCT 20"	25.4mm	20" x 2.1"	56mm	526mm
XCE28 29"	28mm	29" x 2.25"	58mm	750mm
XCE28 27.5"	28mm	27.5" x 2.25"	58mm	714mm
XCE28 26"	28mm	26" x 2.1"	54mm	680mm
MOBIE45 700C	34mm	700C x 57C	59mm	751mm
MOBIE45 27.5"	34mm	27.5" x 2.4"	63mm	717mm
MOBIE25 700C	32mm	700C x 57C	59mm	751mm
MOBIE25 27.5"	32mm	27.5" x 2.4"	63mm	717mm
MOBIE-A32 27.5"	32mm	27.5" x 2.4"	63mm	717mm
XCM-ATB 29"	30mm	29" x 2.4"	63mm	760mm
XCM-ATB 27.5"	30mm	27.5" x 2.4"	63mm	724mm
XCT-ATB 29"	28mm	29" x 2.4"	63mm	760mm
XCT-ATB 27.5"	28mm	27.5" x 2.4"	63mm	724mm
NRX32-15 700C	32mm	700C x 48C	50mm	722mm
NRX30 700C	30mm	700C x 48C	50mm	722mm
NVX28 700C	28mm	700C x 52C	54mm	738mm
NCX30 700C	30mm	700C x 48C	50mm	722mm
TR-HSi 700C	30mm	700C x 52C	54mm	738mm
NEX-E25 700C	30mm	700C x 52C	54mm	738mm
NEX-E25 26"	30mm	26" x 2.1"	54mm	678mm
NEX 700C	28mm	700C x 48C	50mm	738mm
NEX 26"	28mm	26" x 2.1"	54mm	678mm
M3010-700C	25.4mm	700C x 52C	54mm	742mm
M3010-26"	25.4mm	26" x 2.1"	54mm	684mm
M3010-24"	25.4mm	24" x 2.1"	54mm	630mm
M3010-20"	25.4mm	20" x 2.1"	56mm	526mm
CR9 700C	28mm	700C x 48C	50mm	722mm
CR85-E25 700C	30mm	700C x 48C	50mm	722mm
CR85-E25 26"	30mm	26" x 2.1"	54mm	684mm
CR8 700C	28mm	700C x 48C	50mm	722mm
CR8 26"	28mm	26" x 2.1"	54mm	684mm
CR7 700C	25.4mm	700C x 48C	50mm	722mm
CR7 26"	25.4mm	26" x 2.1"	54mm	684mm

注意：上記の寸法は、ボトムケースタイプにより異なります。幾つかのボトムケースは、泥除け装着時（泥除け装着用ダボ付き）の寸法、幾つかのボトムケースは泥除け未装着時（泥除け装着用ダボなし）の寸法となります。

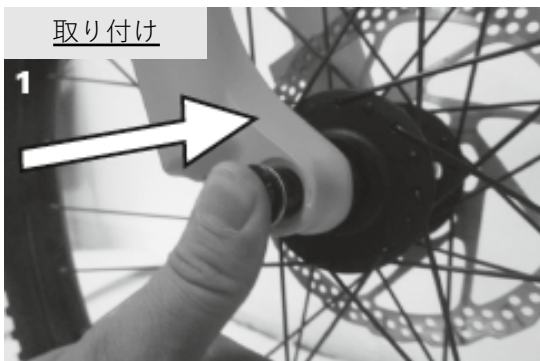
ディスクブレーキ最大取付可能ローターサイズ

フォークモデル	スタンチオンチューブ サイズ	ディスクキャリパーを直接取 り付けたときのローター取り 付け最大可能サイズ	最大使用可能 ローターサイズ
RUX	38mm	203mm	203mm
DUROLUX36 29 BT	36mm	180mm	203mm
DUROLUX36	36mm	180mm	203mm
AURON35 29"/27.5" BT	35mm	180mm	203mm
AURON34 29"/27.5"	34mm	160mm	203mm
AION35 29"/27.5" BT	35mm	180mm	203mm
AION34 29"/27.5"	34mm	160mm	203mm
ZERON35 29"/27.5" BT	35mm	180mm	203mm
AXON34 29"/27.5" BT	34mm	160mm	180mm
AXON32 29"/27.5"	32mm	160mm	180mm
EPIXON 29"/27.5"/26"	32mm	160mm	180mm
RAIDON34 29"/27.5" BT	34mm	180mm	203mm
RAIDON32 29"/27.5"/26"	32mm	160mm	180mm
XCR34 29"/27.5" BT	34mm	180mm	203mm
XCR32 29"/27.5" BT	32mm	160mm	180mm
XCR32 29"/27.5"/26"	32mm	160mm	180mm
XCM34 29 BT	34mm	160mm	203mm
XCM34 27.5 BT	34mm	160mm	203mm
XCM32 29"/27.5" BT	32mm	160mm	180mm
XCM30 29"/27.5"/26"	30mm	160mm	180mm
XCT30 29"/27.5"	30mm	160mm	180mm
XCT28 L24"	28mm	160mm	180mm
XCT 24"/20"	25.4mm	160mm	180mm
XCE28 29"/27.5"/26"	28mm	160mm	180mm
Mobie45 700C/27.5"	34mm	160mm	203mm
Mobie25 700C/27.5"	32mm	160mm	180mm
NRX32-15 700C	32mm	160mm	180mm
NRX30 700C	30mm	160mm	180mm
NVX28 700C	28mm	160mm	180mm
NCX30 700C	30mm	160mm	180mm
NCX28 26"	28mm	160mm	180mm
NEX-E25 700C	30mm	160mm	180mm
NEX 700C/26"	28mm	160mm	180mm
M-series	25.4mm	160mm	180mm

15mmボルト止めアクスルの取り付け・取り外し

注意：取り付けの前に、Oリングがねじ部に正しく装着されていることを確認してください。

取り付け



1. 自転車の右側（駆動側）から車軸をしっかり押し込みます。

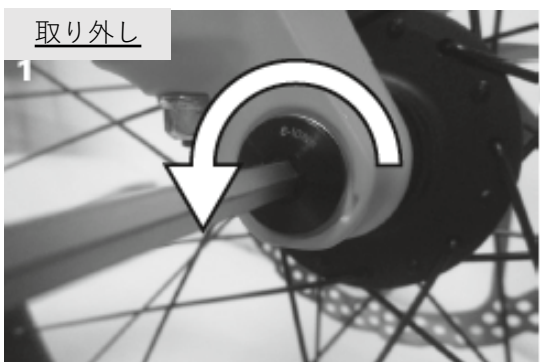


2. 5mm六角レンチを使ってアクスルを締め付けます。（推奨締付トルク：8-10Nm）

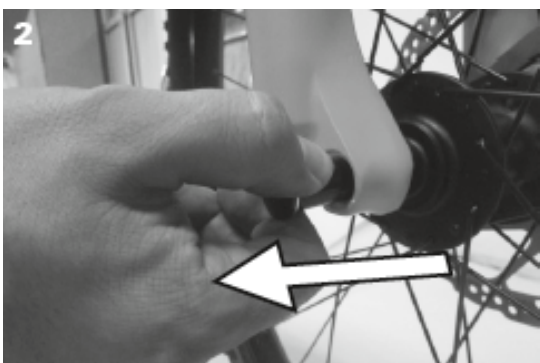


3. 完全に締め付け後、アクスルのネジが視認できることを確認してください。

取り外し



1. 自転車の右側（駆動側）から5mm六角レンチを使ってアクスルを緩めます。



2. アクスルを引き出します。

20mm ツールタイプアクスルの取り付け・取り外し



1. アクスルを差し込み、6mm六角レンチを使って締め付けます。(推奨締付トルク：10Nm)



2. セキュリティクランプを4mm六角レンチで締め付けます。(推奨締付トルク：7Nm)

※取り外しの際は、上記の逆順になります。

20mm ツールフリーアクスルの取り付け・取り外し



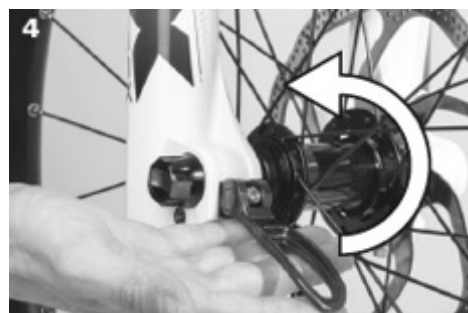
1. 自転車の右側（駆動側）からアクスルを差し込みます。このとき赤い可動式レバーは先に出しておきます。



2. 赤い可動式レバーを使ってアクスルを締め付けます。



3. 締め付けたら赤い可動式レバーをアクスル内に押し込んで格納します。



4. クイックリリースレバーを閉じて固定します。



5. 必要に応じて、4mm六角レンチを使って張力を調整します。

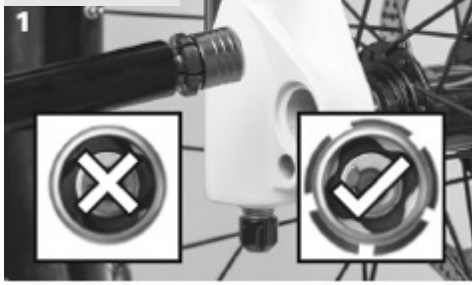


6. クイックリリースレバーはボトムケースにぴったり付けるように閉じてください。

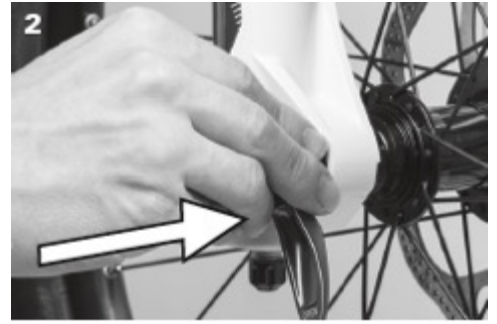
※取り外しの際は、上記の逆順になります。

Q-LOCの取り付け・取り外し

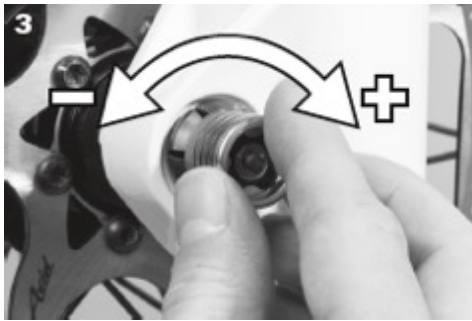
取り付け



1. アクスルを挿入する前に、赤いフランジが広がっている事を確認し、レバーを完全に開いた状態にしてください。



2. 「カチッ」と音がするまでアクスルを押し込みます。フランジが広がっていることを確認してください。



3. レバーを半分閉めた状態で張力を調整し、フランジがボトムケースにぴったり付くようにしてください。



4. レバーをしっかり閉じてください。車輪が確実に固定されているか確認し、必要に応じて締め直してください。

取り外し



1. 右側（駆動側）のレバーを完全に開いてください。



2. 左側（非駆動側）のナットを押し付け、赤いフランジが内側に引っ込んでナットと同じ外径にします。



3. ナットを押し付けたまま時計回りに回し、手を離してもフランジが開かなくします。



4. アクスルを引き出します。

コイルスプリングのプリロード調整

ばねのプリロード（予荷重）を調整することにより、乗員の体重や乗車スタイルに合わせてフォークを調整できます。設定するのはコイルばねの硬さではなく、ばねの予荷重です。これにより、乗員が着座した時のフォークのサグ（沈み）が抑えられます。通常は標準硬さのばねが使われています。ばねの予荷重は、プリロードアジャストノブを時計回りに回すと強まり、反時計回りに回すと弱まります。SR SUNTOURのサスペンションフォークでは、標準の硬さ以外に、ソフトとハードと2種類のばねをオプションでご用意しております。



空気圧と「サグ（沈み量）」

ライダーの 体重 (kg)	推奨空気圧 (psi)								
	RUX	DUROLUX AURON AION	AXON EPIXON RAIDON	XCR-air	XCM-Jr.- air	Mobie45- air	Mobie25- air	NRX-air	NCX-air
< 55	< 40	35 - 50	40 - 55	40 - 55	40 - 55	35 - 50	40 - 55	40 - 55	40 - 55
55 - 65	40 - 50	50 - 60	55 - 65	55 - 65		50 - 60	55 - 65	55 - 65	55 - 65
65 - 75	50 - 60	60 - 70	65 - 75	65 - 75		60 - 70	65 - 75	65 - 75	65 - 75
75 - 85	60 - 70	70 - 85	75 - 85	75 - 85		70 - 85	75 - 85	75 - 85	75 - 85
85 - 95	70 - 85	85 - 105	85 - 100	85 - 100		85 - 105	85 - 100	85 - 100	85 - 100
95 <	85 +	105 +	100 +	100 +		105 +	100 +	100 +	100 +
工場設定 空気圧	70psi	90psi	32mm: 110psi 34mm: 95psi	32mm: 120psi 34mm: 100psi	50psi	90psi	100psi	85psi	80psi
最大可能 空気圧	105psi	120psi	145psi	160psi	100psi	120psi	130psi	120psi	120psi
注意： 上記の数値は参考値です。正しい空気圧は、SAGをチェックして個々に調整する必要があります。									

サグ=SAG（沈み）とは、自転車に乗る人の体重（バックパックなどの装備も含む）やサドルに座ったときの姿勢、フレームの形状などによって、乗っただけでサスペンションに加わる圧縮力（コンプレッション）のことであり、自転車に乗って走った結果、発生するものではありません。当然、体重やサドルに座ったときの姿勢は乗り手によって異なります。従って「サグ」も乗り手の姿勢や体重によって異なり、用途や好みにもよります。



NCX series

1. バルブキャップを緩めて外し、フォーク/サスペンション用ポンプをバルブにねじ込んで装着します。
2. 必要な空気圧になるまでサスペンションフォークに空気を入れてください。推奨される最大空気圧を超えないようにしてください（**チャート参照**）。
3. フォークパイプのOリングをダストシール（一番下）まで下げてから、そっとうつもの乗車姿勢で自転車にまたがって「サグ」（Oリングとダストシールの距離）を確認します。必要に応じて空気圧を調整してください。Oリングが付いていないモデルの場合、フォークパイプに結束バンドを巻くと「サグ」を正確に測定できます。「サグ」を測定する際には、自転車にじっと座っていられるようにするために壁に寄りかかって作業するのがいいでしょう。

フォークのメンテナンス

可動部品は水分や汚れに曝されますので、何度か乗車するとサスペンションシステムのパフォーマンスが低下する可能性があります。サスペンションシステムを高いパフォーマンスで安全に末永くお使いいただくためには、定期的なメンテナンスが必要です。

- **メンテナンス指示内容に従って点検・整備が行われていない場合、サスペンションシステムは保証対象外となります。**
- **サスペンションシステムを洗浄する際には、高圧洗浄機などの高い圧力の水を使用する機器を用いてはいけません。ダストシール部分から水が入り込む可能性があります。強力な洗浄剤も使用しないでください。サスペンションの汚れは、きれいな水と湿った布で拭き取るようにしてください。**
- **過酷な気象条件（冬季、あるいは水がたまった泥だらけの道など）や起伏に富んだ地形を走る場合は、下記「メンテナンスについて」よりも多い頻度でサスペンションシステムの点検・整備を行う必要があります。**
- **お使いのサスペンションシステムのパフォーマンスがおかしい、あるいはハンドルの感覚がしっくりこないとお考えの場合は、すぐにフォークの点検を最寄りの販売店にご依頼ください。**
- **乗った後に必ず行うメンテナンス: フォークの各チューブやダストシールを掃除して少量の油を含ませた布で拭き上げて下さい。フォークパイプの表面にへこみや傷、変色、オイル漏れ等がないことを確認してください。**
- **50時間毎に行うメンテナンス: メンテナンス1（販売店にご依頼ください。）**
- **100時間毎、または年1回行うメンテナンス: メンテナンス2（しっかりグリスを充填し天候による影響からすべてのパーツを保護できるように、できれば冬期に入る前に販売店にご依頼ください）。**

メンテナンス1:

フォークの機能の確認 / ボトムケース底部の取り付け用ねじやナットの締め付けトルク確認（推奨締め付けトルク：ボルトタイプ10Nm、ナットタイプ8Nm） / 傷やへこみ、亀裂、変色、劣化の徴候、軽度の腐食（少量の油を含ませた布で拭き上げて保護）、オイル漏れの確認。

メンテナンス2:

メンテナンス1の項目に加えて、フォーク全体(内側および外側)の分解清掃 / ダストシールやスライダースリーブの清掃および潤滑油塗布 / 締め付けトルクの確認 / 乗員の好みに合わせた調整。
分解する前にフォークのスライダースリーブの遊び（ガタつき）を確認します。スライダースリーブの遊びを確認するには、フォークを車体に取り付けた状態で前輪ブレーキをかけ、ハンドルステムを握って自転車を前後に優しく揺らします。遊びが大きすぎる場合（フォークブレース部で1mm以上）はスライダースリーブを交換してください。

推奨カテゴリー

	ベダルアシスト付き E-bike (電動アシストスปีド・ ペダレック：E45)	ベダルアシスト付き E-bike (電動アシストバイク： E25)	ベダルアシスト付き E-bike (電動アシストバイク： E25)：オフロード用	クロスバイク	トレッキングバイク	シティバイク	ダウンヒルバイク	EH	オールマウンテンバイク	クロスカンントリー レース用バイク	クロスカンントリー バイク
	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー
	45km/hまで アシストし、 舗装路や軽度 のオフロード電 動アシスト車	25km/hまで アシストし、 舗装路を走行 する電動アシ スト車	25km/hまで アシストし、 オフロードを 走行する電動 アシスト車	舗装路または 軽度のオフ ロード	舗装路または 軽度のオフ ロード	舗装路		クロスカン トリー、エン デュロ	クロスカン トリー、トレ ールバイク、 オールマウン テン	クロスカン トリーレース、 クロスカン トリー	クロスカン トリー
	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー	ダウンヒル	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー
	ダウンヒル、 エンデュロ、 オールマウン テン、クロス カンントリー レース、クロ スカントリー	ダウンヒル、 エンデュロ	ダウンヒル	ダウンヒル、 エンデュロ、 オールマウン テン、クロス カンントリー レース、クロ スカントリー	ダウンヒル、 エンデュロ、 オールマウン テン、クロス カンントリー レース、クロ スカントリー	ダウンヒル、 エンデュロ、 オールマウン テン、クロス カンントリー レース、クロ スカントリー		ダウンヒル	ダウンヒル	ダウンヒル、 エンデュロ、 オールマウン テン	ダウンヒル、 エンデュロ、 オールマウン テン、クロス カンントリー レース
MOBIE45	0	0		0							
MOBIE25		0		0							
MOBIE-A32		0		0							
XCM-ATB		0		0							
XCT-ATB		0		0							
NEX-E25		0		0							
CR85-E25		0		0							
NVX-HE-E25		0		0							
NRX		0		0							
NVX				0							
NCX		0		0	0						
TR-HSi		0		0	0						
NEX				0	0						
M3010					0	0					0
M3010 24"/20"						0					0
CR9					0	0					
CR8						0					
CR7						0					
RUX38							0				
DUROLUX36 BOOST			0					0			
AURON35 BOOST			0						0		
AURON34									0		
AION35 BOOST			0						0		
AION34									0		
ZERON35 BOOST			0						0		
AXON34 werx BOOST										0	
AXON32 werxF										0	
AXON32 werx										0	
AXON34 BOOST			0								0
AXON32											0
EPIXON9											0
RAIDON34 BOOST			0								0
RAIDON32 BOOST											0
RAIDON32											0
XCR34 BOOST		0	0								0
XCR32 BOOST											0
XCR32											0
XCR24"											0
XCM34 BOOST		0	0								0
XCM32 BOOST											0
XCM											0
XCM28 24"+					0						0
XCT30					0						0
XCT JR L					0						0
XCT JR					0						0
XCE28					0						0

カスタマーサポートオフィス

アジア・オセアニア

SR SUNTOUR INC.

#7 Hsing Yeh Road
Fu Hsing Industrial Zone
Chang Hua, Taiwan, R.O.C.
Tel: +886-(0)4-769-5115
service@srsuntour.com.tw

SR SUNTOUR INTERNATIONAL CO., LTD.

No. 1500 Honghu Road, Penglang
Kunshan, Development Zone
Jiang Su Province, China ZIP 215333
Tel: +86-512-5517-1127
sr-service@srsuntour.com.cn

SRS INTERNATIONAL TRADING LTD.

Room 501, 5th floor, Building No. 2
Jiaxing Industrial Zone, Shubei Road
Gongming Town, Guangming District
Shenzhen City, China 518106
Tel: +86-755-271-084 83
service@srsuntour.com.cn

SR SUNTOUR ジャパン

〒111-0051
東京都台東区蔵前3-13-13
NRビル 4F
Tel: +81-3-5829-9211

ヨーロッパ

SR SUNTOUR EUROPE GmbH

Riedstrasse 31
83627 Warngau, Germany
Tel: +49-(0)802-150-793-0
service@srsuntour-cycling.com

SR SUNTOUR Technical Service Center

Max-Planck-Str. 4
97526 Sennfeld, Germany
Tel: +49-(0)9721-473-4896
service@srsuntour-cycling.com

SAV SR SUNTOUR FRANCE

604 voie Galilee
73800 Sainte Helene du Lac, France
Tel: +33-(0)981-241650
sav@srsuntour-cycling.com

アメリカ

SR SUNTOUR North America Inc.

7509 S. 5th Street Suite 124
Ridgefield, Washington 98642
Tel: +1-360-737-6450
Sales: ssna@srsuntourna.com
Service, warranty: service@srsuntourna.com

SR SUNTOUR Madison

910 Watson Avenue
Madison, Washington 53713 USA
Tel: +1-608-229-6610
service@usulcorp.com

ウェブリンク

詳細はSR SUNTOURのウェブサイト(www.srsuntour-cycling.com)を参照してください。また、以下のリンクもご利用ください。

- ◆ サービスリクエスト：<http://www.srsuntour-cycling.com/service/service-request>
- ◆ マニュアルビデオ：<http://www.srsuntour-cycling.com/service/tech-videos>
- ◆ ダウンロードエリア：<http://www.srsuntour-cycling.com/service/download-area>
- ◆ 取扱説明書：<http://www.srsuntour-cycling.com/ja/service/download-area/consumer-downloads/bike/owners-manuals/general-fork-manual/>
- ◆ フォーク用語集：<http://www.srsuntour-cycling.com/service/fork-glossary>
- ◆ 保証関係：<http://www.srsuntour-cycling.com/service/warranty>